



少しずつ慣れ始めた園生活

園長 大橋 美都子

今年は開花がゆっくりだった桜もすっかり葉桜となり、園の周辺のツツジが色とりどりに咲き始めました。

3歳児の新入園児たちも幼稚園という場には楽しいことがあること、学級に様々なマークシールの子がいること、必ずおうちの人が迎えに来てくれることなど園生活が少しずつ分かってきたのではと思います。きっとこれから、「**マークの子が…した」「**マークのこと一緒にいたい」などということも出てくることでしょう。これが友達との関わりの始まりです。本当に少しずつではありますが、一日一日の積み重ねが大切になってきます。

4歳児は、先日初めてホールで5歳児との誕生会に参加しました。司会をする5歳児に興味津々だったり、他学年の先生との関わりを楽しんだりしました。保育室ではごっこ遊びが盛んで、ダンスのショーが始まったり、お店屋さんができたり、みんなで集まってゲームをしたりして楽しんでいます。

5歳児は、2階での生活に慣れてきて、2階のフロアと園庭をフル活用して楽しんでいます。先日はグループでのこいのぼり製作に取り組み、自分だけの意見を通すわけにはいかないことや、思いを伝えたり、譲ったり譲ってもらったりするを経験しました。修了する頃には、みんなで協力すること、力を合わせると一人ではできないことでもできる、という達成感、成就感を味わえるように育てていきます。

新しい環境での生活、そして暑さも加わり、どの幼児も疲れが出てくる頃です。ゴールデンウィークはゆっくりご家庭で楽しめるといいですね。5月中旬からは、ネイティブティーチャー(NT)による英語でのふれあい活動も始まります。遊びの中でNTと関わって英語に触れたり、みんなで手遊びやゲームなどをしたりすることを楽しんでいけることでしょう。お楽しみに！

PTA活動も本格的に始まりました。会長、役員の皆様を中心に、教育活動へのご理解・ご協力をよろしくお願い申し上げます。



宇宙組のカラフルなこいのぼりも
元気よく泳ぎ始めました



園庭では違う学年、学級と出会って関わることも・・・！
「これ何だろうね」「アリさんがいるよ」

